



あなたとワタシのフクシのアシタ

FACE to FUKUSHI

CORPORATE PROFILE 2018

これからの福祉、一緒につくっていきませんか。



あなたとワタシのフクシのアシタ

FACE to FUKUSHI

一般社団法人 FACE to FUKUSHI (フェイス トゥ フクシ)

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビル 4階106

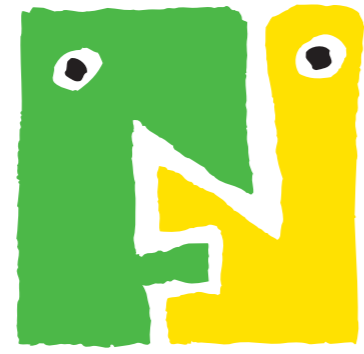
☎ 06-4799-0108 ✉ info@f2f.or.jp 🌐 http://f2f.or.jp/

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



フクシの未来を
つくる人もつくる。

福祉のこれからを拓く
若手人材の採用をともし。



FACE to FUKUSHI

VISION

日本の **FUKUSHI** を、世界最高の **welfare** に。

そのために

次世代を担う若手人材の採用・育成を支援し、**福祉の未来をともに創造**していきます。

福祉業界を選ぶ若者は少なく、 離職者が多いという現実



私たちは、福祉業界の人材難を業界全体で解決することを目指し、若手福祉従事者同士をつなぐ「全国若手福祉従事者ネットワーク」を2009年に立ち上げました。その後、2014年に「FACE to FUKUSHI」へと名称変更し、若手人材の採用と育成・定着をサポートする事業を展開しています。

福祉に「3K」というネガティブなイメージをもち、福祉業界を就職の選択肢として考えない学生は少なくありません。また、3年以内の離職率は37.6%*と、他業界に比べて高水準となっています。つまり、**就職率が低く、離職率が高い**。これが福祉業界の若手人材における現実です。

とは言え、**福祉は困っている人の支えとなることができる、とても誇らしい仕事**。まちづくりも含めた多様な取り組みは、これからの時代における福祉の可能性を示しているように思います。また、実際に働いている多くの人がやりがいを感じ、楽しく働いているのも事実です。

学生のイメージが悪いのは、福祉の魅力や、現場で生まれている笑顔ややりがいが、彼ら彼女らに伝わっていないことが原因なのではないでしょうか。さらに、離職理由として「入社前に思い描いていた法人理念や仕事内容に対するギャップ」が多く挙げられますが、これも法人の理念や仕事内容が学生に伝わらないまま採用・就職に至っている結果だと考えられます。

5年後・10年後を考えた採用活動を



福祉業界において、新卒採用を積極的に行なっている法人は多くありません。目の前の仕事をこなすための人材確保に気をとられ、「新卒採用が今すぐに経営を揺るがすことはない」という認識のもと、新卒採用が後回しにされているように見受けられます。

しかし、人材の採用や育成は、成果が出るまで時間がかかるものです。とりわけ福祉の仕事は人によって成り立っており、人材に関する課題に取組むタイミングが後になればなるほど課題はより深刻化し、法人として致命的な状態におちいる可能性も出てくるのではないのでしょうか。

5年後・10年後を見据えると、法人理念に共感し長期的な関係を築くことができる、**次世代の福祉経営の担い手**となる人材の採用と育成・定着こそが喫緊の課題です。私たちは、それらを解決すべく事業活動を展開しています。

福祉を「働きたい、働き続けたい」仕事に



福祉は、人の幸せに関わることができる、やりがいと誇りのある仕事。この仕事を持続可能に発展させていくためにも、若い人材の採用と育成・定着に力をいれ、学生に「**おもしろい、働いてみたい**」と思われるだけでなく、いま福祉の仕事をしている人も**イキイキと働き続けられる、そんな好循環を福祉業界につくっていく**ことが私たちの役割だと考えています。

* 平成26年3月新規大学卒業生：厚生労働省「新規大学卒者の事業所規模別・産業別離職状況医療・福祉」より

法人の次世代を担う若手人材の採用と育成をサポートします



大学・学生との関係づくり > P.7

新卒採用支援 > P.5

育成・定着支援 > P.8



福祉の魅力を伝える

全国各地の福祉系大学・学部の教員と連携し、学生が福祉の魅力や可能性に気づくための機会を提供しています。ゲストスピーカーとしての大学講義や、福祉の現場を知るイベント開催のほか、学生が福祉法人に興味をもつきっかけとなるWebも運営しています。

F2Fの取り組み

- ▶ 福祉の現場体験ツアー「フレッシュマンキャンプ」(大学1・2年生向け)
- ▶ 福祉の仕事情報サイト「フクシゴト」(全学年向け)

これからの展望

- ・大学や福祉法人と連携した魅力発信プロジェクト



福祉で働く意欲を高める

学生が福祉業界で働くイメージをもち、働く意欲が高まるような機会を提供しています。福祉法人の仕事現場を体感するインターンシップ・プログラムのほか、就職活動直前のセミナーなどを通じて、採用活動に向けた法人認知度の向上をはかります。

F2Fの取り組み

- ▶ インターンシップフェア「フクシゴトフェス!!」(大学1～3年生向け)
- ▶ 福祉業界研究&交流イベント「フクシゴトカフェ」(大学3年生向け)

法人向け 新卒採用支援

採用力を高めたい法人向けに、ポイントとなる視点とノウハウを学ぶセミナーや、個別での採用支援を実施。福祉法人の新卒採用における企画・運営に関するサポートを行っています。



福祉法人と学生とをむすびつける

福祉法人と学生とをむすぶ就職フェアを開催しています。法人・学生の双方がよりリラックスして出会い、じっくり語り合い、お互いの共感や理解を深められる場をつくることで、福祉法人の採用と学生の就職のベストマッチングをサポートしています。

F2Fの取り組み

- ▶ 福祉就職フェア「FUKUSHI meets!」(就職活動年次向け)

▶ 新卒採用支援プログラム「新卒採用FUKUSHIの学校」

- ・基礎編(採用企画)
- ・若手リクレーター育成編(プレゼン力育成)
- ・広報・デザイン編(広報企画)
- ・内定者フォロー編(内定辞退防止)

▶ 個別採用サポート



働き続けたい環境をつくる

新入職員や若手職員の成長をうながすと同時に、早期離職の防止にもつながる合同研修プログラムを提供しています。それぞれの想いや課題意識を持ちよって、福祉業界で働く同世代と学び合う場をつくることで、モチベーションアップも兼ねた成長をサポートします。

F2Fの取り組み

- ▶ 福祉人材の育成・定着支援スクール「FUKUSHIの学校」
- ・若手編(新入職員・若手職員向け)
- ・現場リーダー編(現場若手リーダー向け)

これからの展望

- ・離職要因の調査分析と白書づくり

事務局運営ノウハウを地域に展開

全国各地の新卒採用を支援するために

福祉就職フェアの開催や、法人向け新卒採用支援プログラムの企画運営をサポートするほか、地域事務局の立ち上げ、継続的な事務局運営に向けたノウハウ提供を行っています。

2017年度は、各地の事務局のイニシアチブによって、北海道・宮城・新潟・福岡・熊本・沖縄の6エリアで「福祉就職フェア」を開催。地元の大学や大学教員、関係団体と連携しながら、福祉法人と学生とのマッチングが続々と生まれています。



福祉業界で働く意欲を高め、福祉法人と学生とをむすびつける

福祉就職フェア「FUKUSHI meets!」



「福祉法人」と「学生」との出会いの場をつくるために、多数の学生と福祉法人が集まる合同説明会を開催。採用活動解禁される春をメインに、東京・大阪で実施しています。

出展法人リレートーク

全出展法人が、自社の魅力を30秒間でプレゼンテーション。司会進行役のアイスブレイクも交えながらテンポよくプログラムを展開し、学生の意欲を高めます。

ブースでの法人説明会

ブースに分かれての法人説明会。カフェをイメージした仕切りのない空間や丸テーブルなど、法人と学生とがリラックスして話ることができる場づくりをしています。

特徴

学生とじっくり話せる



大規模な福祉就職フェアでは、法人の魅力が学生に伝わりづらい傾向があります。「FUKUSHI meets!」は、15社限定の午前・午後の2部制。1日あたり30法人の出展に対し、学生300名が参加する規模で、学生とじっくり話すことが可能です。

学生のブース着席率が高い



1法人あたり平均26名の学生が着席。法人の話熱心に聞き取る学生が多いのは「FUKUSHI meets!」の魅力の一つ。「意欲のある学生と数多く出会える」と、法人満足度アンケートでも好評価をいただいています。

他の福祉就職フェアには参加していない学生と出会える



参加学生の約7割が、社会福祉協議会のフェアに参加していない学生です。他のフェアでは出会えない学生と出会えるのが、「FUKUSHI meets!」の特徴の一つです。

*2018年3月実績

出展法人の声

ブース訪問数は120名。
うちエントリー数は20名。
実績としては充分でした。



社会福祉法人 福祉楽団(千葉県)

学生も企画運営に関わっているFACE to FUKUSHIの福祉就職フェアは、他の合同企業説明会とは全く別モノでした。スーツを着ている学生はめずらしく、私服がほとんど。ブースの雰囲気も明るくやわらかい。そのせいもあってか、学生との距離も近いように思えました。

ブース訪問数は120名、うちエントリー数は20名と実績としても充分でした。これからも福祉のおもしろさを次世代へと伝えていく場をつくってほしいです。

職場見学の半数が地元以外。
地方の法人も
出してみる価値あり。



社会福祉法人 みんなでいきる(新潟県)

2016年8月のフェアで出会った学生1名が、翌年4月に入社。2017年3月のフェアでも50名の学生と話ができ、8名が職場見学に参加してくれました。驚いたのは、地元でもない人が4名もいたこと。本当にやりたいことが見つければ、地方でも人は来てくれるんですね。

私たちの思いやこれからやりたいこと、目指していることなどを話しているうちに、説明している法人と、聞いている学生とが一体感をもった場になったのではないかと思います。学生の未来を決める場、業界の未来をつくる場としての取組みだと感じています。

実績

- 出展法人：119法人
- 参加学生：895名
- ブース平均 訪問学生数：26.9名
- 法人満足度：83.7点/100点
- 学生満足度：86.8点/100点

*2018年3月実績

インターンシップフェア「フクシゴトフェス!!」(大学1~3年生向け)

学生が福祉の仕事を感じ、福祉業界で働く意欲を高めてもらうため、長期休暇時のボランティアやインターンシップ先を探している学生と福祉法人とのマッチングイベント。初開催となった2017年夏の東京会場では、パラリンピックスポーツや障がい者アート、VRでの認知症体験コーナーなど、福祉に興味関心をもってもらうための多様なプログラムを企画しました。

実績

- 出展法人：20法人
- 参加学生：223名(福祉系大学の3年生が主)
- ブース平均 訪問学生数：35.4名
- 法人満足度：85.5点/100点
- 学生満足度：86.3点/100点

*2017年8月実績

報告動画は
コチラから!



福祉業界研究&交流イベント「フクシゴトカフェ」(大学3年生向け)

就職活動を間近に控えた学生と福祉現場の最前線で働く職員とが、福祉の仕事について本音でとことん語り合うイベントを開催。福祉業界全体のイメージアップとともに、直近の採用活動に向けた法人認知度の向上をはかります。

実績

- 東京会場(福祉法人1社：参加学生66名)
- 京都会場(福祉法人5社：参加学生75名)

*2017年8月実績



法人向け 新卒採用支援

採用力を高めたい法人向けに、ポイントとなる視点とノウハウを学ぶセミナーや、個別での採用支援を実施。福祉法人の新卒採用における企画・運営に関するサポートを行っています。

新卒採用支援プログラム「新卒採用FUKUSHIの学校」

経営者・採用担当者向け

基礎編 ～採用企画～

採用目的の再確認、ペルソナの設定、採用フロー構築など、新卒採用で成果をあげるための基礎を学びます。

若手職員向け

若手リクルーター育成編 ～プレゼン力育成～

若手職員が自社や業界の魅力再認識し、学生向けに伝える力を習得することで採用力を高めます。

採用担当者・広報担当者向け

広報・デザイン編 ～広報企画～

採用広報の基礎を学びながら、広報企画の専門家やデザイナーの協力のもと、自社の制作物をブラッシュアップします。

採用担当者向け

内定者フォロー編 ～内定辞退防止～

内定辞退をできる限り防ぐために、内定までの採用プロセスの見直しと、内定から入社までに必要なアプローチを検討します。

実績

福祉人材採用戦略セミナー

採用力を高める基礎編として、全4回のプログラムを大阪・熊本・沖縄で開催。
38法人より104名が参加

*2016-17年実績

福祉魅力発信 合同研修

若手職員向けのプレゼン力育成を主目的として、全5回のプログラムを実施。
6法人より20名が参加。

*2017年実績

福祉人材確保 研究会

大学教員、福祉法人経営者、採用担当者、福祉人材センター職員、行政職員、学生が参加し、東京・大阪・熊本の3箇所で開催。

*2017年実績

個別採用サポート

新卒採用活動における課題分析、プロセス設計、ブランド構築、選考プロセス等におけるアドバイスやプロジェクト・マネジメント、入社後の育成・定着プログラムの構築・運営支援など、個別対応型のサポートも行っております。詳細は、担当までお問合せください。

福祉の魅力を伝える

福祉業界を志望する学生を増やすためには、大学3年次以後のアプローチだけでは限界があります。私たちは、大学入学時から学生に福祉業界への興味関心や意欲をもってもらうため、全国各地の大学や教員の皆さんと連携・協働しています。

大学でのゲストスピーカー

大学や教員とのネットワークを活かし、大学で福祉の魅力を伝えるための講義をしています。

実績

- 関東：東洋大学、武蔵野大学、日本大学、明治学院大学、立正大学、明星大学、大妻女子大学、聖学院大学など
- 関西：関西学院大学、関西大学、桃山学院大学、大阪大谷大学、関西福祉大学、大阪人間科学大学、追手門学院大学など

*2017年実績



福祉の現場体験ツアー「フレッシュマンキャンプ」 大学1・2年生向け

大学教員と連携して、福祉法人の現場をめぐる宿泊型の体験ツアーを実施しています。座学が中心となる大学の講義では感じることができない福祉の現場を実感してもらうほか、他大学の教員や学生との交流・情報交換の機会をつくることで、大学1～2年生から福祉業界に対する意欲や関心を引き出します。

実績

- 関東：2大学 | 学生13名が参加
- 関西：3大学 | 学生11名が参加

*2017年実績



福祉の仕事情報サイト「フクシゴト」

<https://fukushigoto.f2f.or.jp>

学生向けに福祉の仕事情報サイトを運営しています。

福祉法人の求人情報に加え、説明会やインターンシップ情報の掲載、先輩職員の紹介、法人職員から学生へのアドバイスなど、さまざまな角度から仕事情報を発信。大学での講義や各種イベントとも連動しながら、学生の福祉業界に対する意欲や関心を引き出し、法人を認知するきっかけを提供しています。

実績

会員登録数：1,855人 掲載法人数：90社
PV：月平均 9,800pv (年間 118,000pv)

*2018年3月25日時点



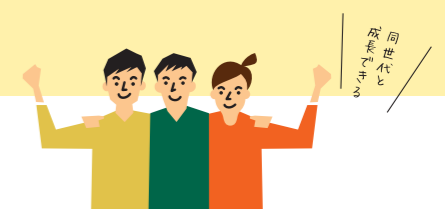
これからの展望

今後は、福祉業界を志望する学生の裾野をさらに広げていくために、福祉法人の皆さんとも連携・協働を深めた活動を展開していきたいと考えています。



働き続けたいくなる環境をつくる

新入職員や若手職員の成長をうながすと同時に、早期離職の防止にもつながる合同研修プログラムを提供しています。それぞれの想いや課題意識を持ちよって、福祉業界で働く同世代と学び合う場をつくることで、モチベーションアップも兼ねた成長をサポートします。



福祉人材の育成・定着支援スクール「FUKUSHIの学校」

入社4年目までの新入職員・若手職員向け

現場若手リーダー向け

若手編 ～社会人基礎力の育成～

新入職員や入社4年目までの若手職員向けに、セルフマネジメント力のほか、自ら考え行動することができる基礎力を養います。

現場リーダー編 ～マネジメント力向上～

30代前半までの現場リーダーを対象にした、若手職員の育成を支援しマネジメントできる視点・スキルを学ぶプログラムです。



実績

FUKUSHI CAMP

全国各地の先進事例を視察し、経営者や先輩メンターのアドバイスを受けながら、新しい価値をつくるプロジェクトや事業を練り上げる合宿型プログラム。北海道、千葉の2箇所で開催し、21法人から23名が参加。

*2016年実績

出稽古ツアー

若手・中堅職員が、全国各地の福祉法人に数日～数ヶ月滞在しながら、先進的な取組みを学ぶプログラム。69名が参加。

*2011-15年実績

これからの展望

「内定離脱や早期離職をなんとかできないか」というご相談を、たびたびいただきます。定着支援のプログラムを新たに開発していくとともに、定着・離職要因に関する調査分析を行い、結果や展望を白書としてまとめていきたいと考えています。

事務局運営ノウハウを地域に展開

全国各地の新卒採用を支援するために

福祉就職フェアの開催や、法人向け 新卒採用支援プログラムの企画運営をサポートするほか、地域事務局の立ち上げ、継続的な事務局運営に向けたノウハウ提供を行っています。

2017年度は、各地の事務局のイニシアチブによって、北海道・宮城・新潟・福岡・熊本・沖縄の6エリアで「福祉就職フェア」を開催。地元の大学や大学教員、関係団体と連携することで、福祉法人と学生とのマッチングが続々と生まれています。

実績

熊本

熊本県知的障がい者施設協会が事務局となって、「FUKUSHI meet!@熊本」を開催。地元大学と連携し、学生がイベント広報記事の制作、事前準備、当日運営ボランティアなどを務めました。14法人、105名の学生が参加。

2017年11月実施

宮城

福祉の仕事に従事する地元有志で結成した「就フェア*宮城」が事務局となり、「FUKUSHI 就職フェア inみやぎ」を開催。18法人、68名の学生が参加。

2017年11月実施

そのほか

各地の事務局のイニシアチブで、福祉就職フェアを開催。

北海道：3法人 | 6名 | 事務局：社会福祉法人ゆうゆう *2018年3月実施

新潟：23法人 | 88名 | 事務局：一般社団法人URBAN FLOW *2018年3月実施

福岡：12法人 | 103名 | 事務局：九州ネットワークフォーラム実行委員会 *2018年2月実施

沖縄：13法人 | 131名 | 事務局：fukushi works okinawa *2017年7月、18年3月実施



その他の活動

福祉人材確保 戦略フォーラム

多種多様なゲストスピーカーを招き、最新の政策動向や先進的な取組みを紹介。福祉人材に関する現状を知り、未来を描くために、全国各地から福祉関係者が集うイベントです。日本財団の助成で、2015年から17年まで開催しました。



実績

参加者：157名

登壇者：

- ・飯田 大輔 [社会福祉法人福祉楽団 理事長/株式会社恋する豚研究所 代表取締役]
- ・野崎 伸一 [厚生労働省 政策企画官]
- ・野澤 和弘 [毎日新聞 論説委員]
- ・藤田 孝典 [ほっとプラス 代表理事/聖学院大学人間福祉学部 客員准教授]

*2017年実績

講演・研修・セミナー

福祉業界の新卒採用支援に取り組んできた経験を活かして、福祉法人や福祉系の大学・学生の現状やニーズ・課題を踏まえた各種講演・研修・セミナーが可能です。ご要望に応じて講師の調整・プログラムの開発をいたします。お気軽にご相談ください。

実績

- ・業界全体として福祉人材確保にどう取り組むべきか | 第36回全国社会福祉法人経営者大会 (三重)
- ・これからのFUKUSHIを共につくる | 大阪府知的障がい者福祉協会平成29年度社員総会 (大阪)
- ・障がい福祉事業所における人材確保と定着・育成について | 島根県知的障がい者福祉協会施設長・管理者研修会 (島根)
- ・日本の福祉を築き上げる若者を生み出す4つの仕掛け | 第4回福祉住環境サミット (東京)

そのほか、実績多数

沿革

- 2009年 「全国若手福祉従事者ネットワーク」を設立(2012年に法人化)
「若手福祉事業者の現状と今後の展望」に関するアンケート調査を実施(福祉従事者892名を対象)
- 2011年 若手福祉従事者のネットワーキング・仲間づくりを目的に「ネットワークフォーラム」を佐賀で初開催
以後、全国各地で展開し、参加者はのべ3,000名を超える
若手職員を対象とした研修合宿「出稽古プログラム」をスタート
- 2014年 「福祉の就職フェア」を大阪で開催、会期37日間で来場者約800名(USTREAM含めると約2,000名)
法人名を「FACE to FUKUSHI」に改称
- 2015年 福祉就職フェア「FUKUSHI meets!」を東京で開催
現在に至る

強み | 特徴

福祉の現場から生まれた「福祉の未来をつくる」というビジョン。
私たちは、ビジョンに共感する人たちと出会い、関係を深めながら、さらなる課題解決・価値創造に向かって挑戦し続けていくプラットフォームです。

立場や経験の異なる多種多様な人たちと対話と協働をかさね、福祉に新たな流れを生み出していきたいと考えています。



意欲のある学生とのつながり

「誇りややりがいをもって福祉の仕事に取り組みたい」。そんな思いをもった学生が集まり、切磋琢磨しあえる場をつくっています。



志のある福祉法人とのつながり

「福祉の未来をつくる」というビジョンに共感する法人が集い、自社や業界全体の発展を見据えて、職員の採用・育成に取り組んでいます。



大学・教職員とのつながり

全国の福祉系大学の教職員と連携し、学生が福祉の魅力や可能性に気づくための機会を提供しています。

メンバー

多彩な経歴をもつメンバーが集い、さらなる価値創造に向けた事業活動を展開しています。



共同代表
河内 崇典

NPO法人み・らいず2 代表理事
NPO法人edge 代表理事
一般社団法人Collective for Children 共同代表
近畿大学 非常勤講師

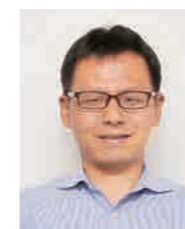
課題先進国と言われる日本から、世界最高水準の「FUKUSHI」をつくっていききたい。まずはそのためにも、立場・役割を超えた協働を深めながら、課題解決や価値創造のための挑戦をかさね、福祉の仕事若者たちの憧れにしていきたいと思っています。



共同代表
大原 裕介

社会福祉法人ゆうゆう 理事長
NPO法人全国地域生活支援ネットワーク 代表理事
北海道医療大学 客員教授

人口減少・超少子高齢化が進行する日本において、福祉の仕事の重要性がますます高まるなか、若者たちに福祉の魅力や可能性を伝え、自らが主役となって未来をつくらうという気概のある仲間を増やすことに力を尽くしていきます。



理事 | プロジェクト・デザイナー
今津 新之助

福祉の世界に大きな可能性を感じます。価値創造へと向かう意思ある挑戦の伴走者として、望ましい未来をともに描き、さらなるコラボレーションに取り組んでいきます。



事務局長
岩本 恭典

福祉人材確保には、現場で活躍する職員一人ひとりが、福祉の魅力を発信することが不可欠です。今後も福祉職員と学生との多様な接点をつくっていききたいと思っています。



事務局 | ファシリテーター
池谷 徹

今後はさらに人材不足が顕著になり、働き方や仕事の見つけ方の多様化が進んでいきます。若者が福祉の可能性を感じられるよう、これからも魅力的な場づくりに挑戦していきます。



事務局 | ロジスティクス
近重 有貴

福祉学部で学び、資格取得までしても、福祉の仕事を選ばない多くの学生たち。彼らの「もっと福祉の仕事を知りたい」という思いに応え、自らと向き合える企画を考えています。